



ごあいさつ

公益社団法人 日本防犯設備協会

代表理事 服部 範雄

公益社団法人日本防犯設備協会の代表理事をしております服部です。この度は“三防設通信”の中で貴協会の皆様に挨拶の機会を頂きましたことに対し心から御礼申し上げます。さて、日防設も今年で創立25周年を迎え、また、4月1日からは公益社団法人として新たなスタートを切ったところであります。

この間、当協会の主力事業の一つである防犯設備士制度においては、資格取得者が累計で20,000人を超え、当協会の地域に密着した活動の拠点と言うべき地方協会は、35の都道府県に設立されております。

さらに、優良な防犯機器の普及促進を目的に平成20年に開始したR B S S（優良防犯機器認定制度）も、すでに200型式の認定を行い、今後の普及拡大が期待されております。

ところで、本年度からスタートした第3次中期計画では、「B S S事業の強化」の項で、各地域協会のニーズの把握と防犯基準・制度の検討を、また、「地域協会との連携強化」の項で、防犯優良マンション認定制度や防犯アドバイザー制度等の普及促進を図ることとしております。こうした施策を確実に進めていくためには、当協会と地域協会の皆様とのコミュニケーションが何より大切であると考えます。皆様のご協力、ご理解をよろしくお願いいたします。

一方、貴協会では松吉理事長の強力なリーダーシップの下、「住宅防犯設備普及地域人材育成事業」を受託するなど、全国の地域協会のモデルとなる事業を推進されておりますが、今後とも先進的事業に取り組み、全国に情報を発信していただきたいと思います。

東日本大震災の影響は社会の隅々まで及び、私たちを取り巻く事業環境も厳しいものがありますが、当協会も皆様と一緒に知恵を出し、努力してまいりたい所存です。

最後に、皆様のご健勝とご発展をお祈りし、私の挨拶といたします。

三重県の安全・安心まちづくり



NPO法

三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.co>

■ ご挨拶

NPO法人 三重県防犯設備協会
理事長 松吉 善弘

東日本大震災で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

震災から120日以上も経ちましたが、二次被害、三次被害と、政治の混迷など、未だ終息の道筋すら見えません。

被災者の立場になれば、日々直面する生活の中で、精神的な痛みや苦しみ、虚無感に苛まれ、立ち直ることは容易でないと拝察します。どうか一日も早い自立と、復興の槌音を期待いたします。

未曾有の国難に遭遇し、震災復興にご尽力頂いている方々や、ボランティア活動に尊い汗を流して下さっている人々がいる半面、社会的な不安や被災地の状況を悪用し、犯罪行為に走る者がいることも悲しい事実です。

三重県内の刑法犯認知件数は、5年前に比べて約半数にまで下がりました。

これは現職警察官をはじめ、関係団体や自主防犯活動団体関係者のご努力の賜物であります。

また設備的に見ると、防犯カメラや録画装置の普及が、地域の安全安心に大きな役割を果たしていることも確かであります。

ひるがえって、我々NPO法人 三重県防犯設備協会は、与えられた社会的な使命を愚直に推し進めていくことこそ、被災者への最大の支援であろうと考えます。

そのような思いを込めて、本年度計画した防犯カメラの寄贈や防犯設備の普及、ならびに防犯優良マンション認定制度の立ち上げなどの事業を行ってまいります。

また、防犯設備士や総合防犯設備士の役割を、広く社会に認知していただく活動も大変重要なことであると考えています。

会員の皆様には、厳しい経済環境下ではありますが、引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

■ 協会の活動内容

1. 三重県からの「住宅防犯設備普及地域人材育成事業」が終了 防犯設備士が12名誕生



戸建住宅の防犯診断



パネルで施工実習



美和ロックでの研修

平成22年12月1日からスタートした三重県から受託の「住宅防犯設備普及地域人材育成事業」が平成23年2月28日をもって無事終了することができました。

目標とした防犯設備士の資格も受験した14名中12名（1名は怪我のため出席できず）取得することができました。

3ヶ月の研修期間中、講師としてご支援いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

研修期間中は、住宅や駐車場の防犯診断、夜間の照度測定などの現場実習、防犯ガラス、錠前、防犯機器などの製造現場の見学、防犯機器の施工、錠前の組立、取付実習や自主防、防犯パトロールの会など関連団体との交流などのカリキュラムをこなし、本来、防犯設備士として具備すべき知識と技能を習得するよう研修を行いました。

さらに、パソコン研修を行いパワーポイントによる各班の発表を通じたプレゼンテーション能力の向上、対人マナー、倫理教育も実施しました。

防犯設備士テキスト各編の研修は、これらの研修とリンクするよう設定し、三防設理事と一部外部講師によるテキスト各編の研修、さらに各理事が作成した模擬試験問題によるテストを実施して受験に備えました。

今回の事業の目的は、研修終了後防犯設備士として活躍できる知識と技能を習得することであり、その結果として防犯設備士の資格取得を目標としたカリキュラムと致しました。

防犯設備士の資格を取得した12名は全員、三防設の個人会員に入会されました。
今後、この資格を生かした求職活動を行うとともに、市町からの依頼による住宅や小学校通学路などの防犯診断、自治会や自主防とタイアップした防犯セミナーなど地域の安全・安心に貢献できる場を積極的に設けて参りたいと考えております。

関係する行政機関、企業、日防設など今後とも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(事務局 加藤記)

2. 平成23年度三防設定時総会開催



総会で挨拶する松吉理事長



スキルアップ研修会

平成23年5月13日 津市新町のプラザ洞津において第6回定時総会が開催されました。

今回は協会設立から5年目を迎え、記念となる総会の内容を検討してきましたが、3月11日に発生した東日本大震災の災禍に鑑み、当初検討された特別な企画や懇親会などの行事を取りやめ、それらの費用も含め寄付等にあてるなどの内容に変更して開催されました。

<第一部>総会

松吉理事長の挨拶につづき、来賓各位(三重県生活・文化部 交通安全・消費生活室室長 金川 雄一様、三重県警察本部 生活安全部首席参事官 生活安全企画課長 栃木 新一様、三重県防犯協会連合会 専務理事 渡部 邦夫様)より挨拶をいただいたあと、三重県ボランティア活動基金に対し震災地域でのボランティア活動支援のため20万円を寄付、また県内3地域の自主防犯活動団体を通じて、地域の防犯対策に役立てていただくために防犯カメラの贈呈を行ないました。

その後、議事に入り藤村理事を議長に選任、各議案について審議が行なわれ全議案とも承認、可決されました。

<第二部>報告会

今回は三防設および日防設から実施した主な事業の報告を行いました。

- ・三重県より受託の「住宅防犯設備普及地域人材育成事業」について松吉理事長より報告
- ・三重県における「防犯優良マンション認定制度」の推進状況について前嶋副理事長より報告
- ・「日防設及び全国地域協会の動向」について日防設・土生業務担当部長より報告

<第三部>スキルアップ研修会

- ・「安全、安心なまちづくりのための防犯灯の活用」をテーマに、日防設防犯照明委員会委員長の乗木 俊毅氏を講師にお招きし、約1時間にわたりLED防犯灯の現状なども交えた研修を行ないました。

今回のテーマは時流にマッチしたもので、現物を使って従来の蛍光灯とLEDとの性能比較を行うなど大変わかりやすい講習内容でした。

(前嶋副理事長記)

3. 伊勢社会福祉協議会で防犯講演とパネルディスカッション

平成23年3月5日18時30分より、伊勢市福祉健康センターにおいて、「できることから始めよう。防犯ボランティア講座」が開催されました。

(主催：伊勢市社会福祉協議会、共催：三重県・伊勢市、参加者：伊勢市内自主防犯活動組団体90名)

第1部は「防犯活動から始まる地域福祉」のテーマで松吉理事長による講演が行われました。

各団体のユニークな取り組みや、それぞれの課題について、また、抑止力としての防犯カメラの活用事例など説明してもらいました。

第2部パネルディスカッションは、コーディネーター松吉理事長、パネラー自主防犯組織市内3団体で行

われました。各団体のユニークな取り組みや、それぞれの課題まで論議が及び、また、会場の聴衆からも発言がでて、全会場を巻き込みながら進められました。

熱心な聴講を目の当たりにし、常日頃の防犯活動の真摯な取り組み姿勢が感じられました。

会の最後に理事長より一言、「われわれは85歳まで自ら高齢者と言うのをやめよう！まだまだ楽しんで活動を続けていこう！」。

全員に感銘を与える防犯ボランティア講座でした。

※パネリスト：吹上町内安全（防犯）徒歩パトロール隊 総括 山本 優 氏

辻久留台防犯委員会 委員長 芝原 善嗣 氏 黒瀬町自主防犯委員会 委員長 坂徳 泰男 氏
(藤村理事記)

4. 大阪地区で防犯優良マンションの現地審査状況を調査



現地審査風景



審査後の講評

平成23年2月21日大阪府防犯モデルマンション登録制度による登録申請物件の現場審査を見学し、実際の審査状況や制度運用の詳しい内容について関係各位から説明をお聞きしました。

今回の見学は、NPO法人大阪府防犯設備士協会の平野理事長様や(社)大阪府防犯協会連合会様の格別なご協力により実現したもので、

お世話になった方々に心より感謝申し上げる次第です。大阪府では平成13年に広島、静岡に次ぎ全国で3番目に本制度の運用を開始され、平成23年5月現在の登録物件数は833件で全国一の登録件数となっています。見学に参加された三重県・三重県建設技術センターの方々も制度運用に一層のご理解を持たれたことと思います。

近県では愛知、岐阜の両県が平成20年より「防犯優良マンション認定制度」を実施、本年6月現在全国で19の地域がこの制度を実施しています。当協会も三重県における「防犯優良マンション認定制度」の実施に向けた積極的な推進活動を続けており、活動状況を今総会で報告させていただきました。

この制度については、平成17年に策定された犯罪対策閣僚会議の「安全・安心なまちづくり全国展開プラン」において重点的に推進すべき対策として掲げられ、それを受け平成18年4月に警察庁より全国警察本部長あてに制度構築を進めるよう通達が出されたことから全国でその取り組みが始まったものです。また同通達には、制度構築にあたり、県住宅・建築部局との連携や県防犯協会・県建築住宅センターおよび防犯設備士等の団体などにも協力を働き掛けることも明記されています。

言うまでもなく、この制度の実施は「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり条例」と「同条例に基づく指針」の具現化に大きく貢献するもので、体感治安の悪化と多くの不安を感じ、安全で安心な暮らしと住まいを求める三重県民の願いを実現するためにも早期の制度化実現が望まれるところです。

三重県防犯設備協会は、今後も三重県における「防犯優良マンション認定制度」の早期実現を願って、三重県・三重県警察・三重県防犯協会連合会ならびに関係団体との連携を交え、積極的な推進活動を続けてまいります。

(前組副理事長記)

5. いなべ市生活安全推進協議会で防犯講演



いなべ市役所での防犯講演

平成23年5月24日 第1回・いなべ市生活安全協議会が開催され、昨年につづき、当協会理事長が防犯講演を行ないました。

会場のいなべ市役所に、三重県、市内各自治会、自主防、消防団、PTA、生活安全協会、教育委員会と市役所、いなべ警察署から協議会委員が多数参加されました。

会長、市長挨拶のあと、いなべ警察署生活安全課長から犯罪情勢についてお話があり、続いて、いなべ市内での防犯団体の活動報告、いなべ市から防犯行政のお話のあと、当協会理事長による「地域の安全力向上を目指して」のテーマで講演が行なわれました。

最後の意見交換の時間では、当協会に対し自治会から防犯診断の要請があり、犯罪発生時の連絡方法など活発な意見交換が行われました。

(事務局 加藤記)

6. 寄贈したカメラの設置推進

今年度の事業計画のうち、県内3地区に寄贈した防犯カメラの設置および進捗状況と今後の課題についてご報告致します。

【伊賀市桐ヶ丘地区】

伊賀市桐ヶ丘地区住民自治協議会は、NPO法人まちづくり桐ヶ丘や防犯ネットワーク委員会など、さまざまな活動を活発に行っている団体です。

6月の末から同地区住民自治協議会の橋本正納進氏や事務局長の岩間勝氏のご尽力と、伊賀市役所青山支所のご協力を仰ぎ、青山小学校正門近くの市有地に設置をさせていただくこととなりました。子ども達の通学時の見守り強化に役立つと、住民の方々やPTAの同意も頂き、中部電力に電力使用の申請を行っています。許可を得次第設置工事となります。（7月11日現在）

【津市南ヶ丘地区】

津市南ヶ丘地域教育委員会は、子ども達の通学路にあたる地下道に、設置することとし、津市に対し学校長、PTA、自治会長連名で、要望書を提出しました。

これに対し、津市からは防犯カメラの性格上プライバシーの保護をどうするか、画像の管理をいかに確実に行うかについて指導を受け、津警察署との協議も含め、個人情報の管理に万全を期するため再三の協議を持ちました。

津警察署のご協力と指導を受け、道路占用許可が出ましたので8月上旬に施工を予定しています。

【四日市三滝台地区】

四日市市三滝台地区は、防犯パトロール隊の丸山昌久氏が中心となり、近鉄湯の山線伊勢川島駅前の駐輪場に、自転車盗対策として設置することとし、同市の許可を得るべく活動して頂いています。

また、会員のセキュリティハウス四日市、中島氏がカメラの仮設置を行い、画像の確認も済ませています。近日中に結論が出るものと思います。

今回寄贈した防犯カメラシステムは、モニターもないクローズドシステムで事案発生時のみ警察、自治会、防犯設備士三者が立ち会って制御BOXから記録メディアを取り出し検証するものです。

しかし、プライバシー保護に対する懸念は行政をはじめ各方面でも非常に強く、この問題は今後防犯カメラ普及にとって避けて通れない課題であります。

防犯カメラの設置により犯罪件数の削減に著しい効果をあげている、東京杉並区や千葉市川市の条例化による円滑な防犯カメラの導入事例を調査、研究し、三重県、三重県警察、県内の市町に対し働きかけを行ってまいりたいと思います。

（松吉理事長記）

7. 平成23年度第1回三重県安全安心推進協議会開催

「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議」が平成23年5月10日 三重県総合文化会館で開催されました。

三重県警察本部、生活安全企画課犯罪抑止対策室の大西室長から昨年度の刑法犯認知件数や本年度の取組みについて報告がありました。

三重県の平成23年度の施策は、自主防犯活動団体の支援として、安全安心まちづくり活動支援出前講座やリーダー養成講座、フォーラムの開催、みえ防犯キャンパスなど、県民の安全安心に資する事業が発表されました。

■ 今後の活動計画

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 防犯優良マンション認定制度事業化推進 | 2. 学童の安全対策に関する調査・研究 |
| 3. 県・県警と連携した防犯講習会開催 | 4. 全国地域安全運動への協賛 |
| 5. 防犯優良駐車場の事業化推進 | |

■ 関連行事・イベント、その他

三重県防犯協会連合会総会開催

三重県防犯協会連合会の総会が、5月24日にメッセウイングにて開催されました。

県内各地の首長が出席され、粛々と議案の審議が進められたあと、防犯活動団体の表彰がなされました。

また、三重県警察本部 河合潔本部長の訓示の中で、自主防犯活動団体の活躍と平成22年度の刑法犯認知件数の関連をお話しされ、平成16年に比べ認知件数が半減したのは、自主防の活躍が大きいと評価されました。

（松吉理事長記）

■ 商品紹介・一口メモ

(三防設通信発送時 カatalog、チラシを同封しております)

- ・パナソニック電工 (株)



<新商品紹介>

LED防犯灯 (新商品) 『アカルミナ』 ～夜道が明るく見えるLEDの光～

【品番】

NNY 2 0 4 3 5 LE1 (自動点滅器なし)

NNY 2 0 4 3 7 LE1 (自動点滅器内蔵)

- ・コンパクトな形状
- ・FL 2 0 形と比較して約 3 0 % 省エネ
- ・光源寿命: 6 0 0 0 0 時間 (光源維持率 7 0 %)
- ・2 0 1 1 年 6 月 発売 (FL 2 0 形相当)



【アカルミナとは?】

街路の安全性を向上させることを目的として開発された「夜道が明るく見えるLEDの光」の名称です。周囲が明るい時と暗い時で目の感度が変化するプルキンエ現象を応用し、薄明視環境 (いわゆる夜間の屋外環境) において、視感度 (目の光への感度) が高くなる波長の光を多く含むことで、空間の明るさ感を向上させています。

- ・美和ロック (株)



PGVF713



<新商品紹介>

集合住宅 (マンション玄関) 向けの

プッシュグリップ錠 PGVF 7 1 3 / 7 1 4 シリーズです。

官民合同会議の試験に合格したプッシュプルタイプの防犯建物部品です。ハンドルを「押す/引く」だけの動作で誰でも簡単に扉を開けられます。

■ 会員紹介

- ・会員動向

新入会員

1 2 名 (個人会員)

退会

なし

- ・会員プロフィール紹介



丹羽 靖夫 NPO法人 三重県防犯設備協会 理事

住所 三重県津市北丸の内 1 6 6

勤務先 パナソニック電工 (株) 三重営業所

電話 059-227-2251 (代)

E-mail yasuoniwayn@panasonic-denko.co.jp

HP <http://panasonic.co.jp/pew/>

趣味 登山、キャンプ、読書

コメント

「あんしん・安全な暮らしと地域づくり」のために、メーカーとして防犯・セキュリティ商品の開発・製造・販売を通じて社会貢献をしていきます。

又、三重県防犯設備協会の活動を通じて、最終的には、防犯商品の必要ない街づくりに貢献していきたいと思います。

■ 事務局からのご連絡

- ・事務局では現在運用が不十分なホームページをリニューアルして9月から公開を予定しております。今後とも会員の皆様への情報提供に努力して参ります。
- ・次回発行予定 三防設通信は第9号を平成24年1月にお届けの予定です。
- ・三防設のホームページアドレスは <http://www.miebouhan.com/> で、日防設ははじめ全国の防犯設備士 (業) 協会ともリンクが張られておりますのでご利用ください。
- ・今後「三防設通信」をさらに充実して行くために皆様の建設的なご意見をお待ちしております。メール/ info@miebouhan.com または下記のFAXにて事務局加藤宛送付いただくようお願い致します。

編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0112 三重県津市一身田中野93-1 (三重電業内)
TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586